

オリオン座は  
すでに消えている？



## オリオン座はすでに消えている？

縣 秀彦 著

小学館 720円+税 224頁

読み物  
お薦め度  
4  
☆☆☆☆★

センセーショナルなタイトルに違わず、本書は衝撃的なプロローグで幕を開ける。なんとベテルギウスが爆発したというのだ。壮大なSFが始まるのかと興味をそそられる。プロローグでは、超新星爆発が発見され、その騒動が始まったところまで描かれている。実際にベテルギウスが爆発するとまさにこのような状況になるのだろうかと期待させられる。

実際の本書はもちろんSFではない。ベテルギウスの超新星爆発を糸口としてはいるものの、超新星爆発に関するだけでなく天文学のさまざまな最新の研究成果がまとめられた書物である。

第一章では、本書のタイトルとも関係するベテルギウスの超新星爆発に関して、話題となった経緯とともに実際にはすぐ爆発するわけではないということをわかりやすく解説し、その爆発が地球に与える影響についてどのような可能性があるかを紹介している。これらの内容は報道やテレビ番組を見ていた読者にとっては少し拍子抜けかもしれないが、正直にここまでわかっていてここから先はわかっていないと書いてあるところは好感がもてる。第二章以降は、超新星爆発のメカニズム、宇宙・星の誕生・進化、太陽の一生、天文学の謎、天文学の最新望遠鏡と期待される成果、と

続いていく。また、各章の最後にはコラムがあり、本書を通じて宇宙・天文に興味をもった読者のために雑学的な内容が書かれている。本書は、ベテルギウスの超新星爆発で天文学に興味をもった一般の方に天文学全体を概観してもらい、あわよくば天文ファンになってもらおうという内容になっていると言えよう。

一方で、天文学全体を俯瞰しているために、それぞれの章の内容についてはやや初歩的な内容となっており、本書を読んで興味をもった読者にはそれぞれの分野のより高度な書物を読むことをお薦めしたい。また、作者あとがきにも書かれているように超新星爆発の専門家でないため、言葉の定義や研究成果の解釈に関して（読者としてではなく超新星爆発の研究者としての私には）若干気になる点もあった。しかし、それらは話の大筋に影響のある事柄ではないので、読者には安心して本書を読んでいただき、その後専門的な書物にも手を出してそれらの点を補っていただければと思う。

本書には中学生・高校生には若干難しい内容も含まれているが、大学生・社会人向けとしては苦もなく読めるものとなっており、通勤時間などに軽く読む書物としてお薦めしたい。

富永 望（甲南大学理工学部）